EIDAI

S864

室内ドア

2本引き込み戸枠　3本引き込み戸枠

施工・取扱説明書

このたびは、室内ドアをご採用いただきまして誠にありがとうございます。

●施工される方へ［施工説明書　P1～P16］

開梱時において、万一、梱包や製品にキズ等がある場合は、施工前にご購入先まで連絡をお願いいたします。
施工後のお申し出に対しては、当社としては責任を負いかねますので、ご了承願います。
また本説明書に基づき正しく施工後、本説明書を必ずお施主様へお渡しください。

●お施主様へ［取扱説明書　P16］

ご使用前に必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになられたあと、大切に保管してください。

安全上のご注意

●表示内容を無視して誤った工事・使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分して説明します。

⚠ 注意	この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

●お守りいただく内容の種類を次の図記号で区分して説明します。

禁止	この図記号は、製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。	強制	この図記号は、製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。

もくじ

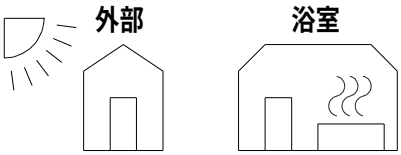
施工上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
1．部材・部品表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3～4
2．姿図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
3．納まり図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5～6
4．施工手順
　4－1．開口寸法の調整・・・・・・・・・・・・・・・・・7
　4－2．施工の前準備・・・・・・・・・・・・・・・・7～9
　4－3．枠の組み立て　・・・・・・・・・・・・・・・・10
　4－4．枠の取り付け　・・・・・・・・・・・・・11～12
　グランドハイト枠セット（枠外高さ2400㎜）を
　天井先貼り時に施工する場合・・・・・・・・・・・・・13
　4－5．付属部品の取り付け　・・・・・・・・・・14～15
5．養生・お手入れ方法
　5－1．養生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
　5－2．お手入れ方法・・・・・・・・・・・・・・・・・16
6．ご使用上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

施工上のご注意

以下の注意事項は、施工される方や住まわれる方への危害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

⚠ 注意	●本説明書は当社カタログ標準品に準じた寸法などの表示をしております。特注・特寸対応した製品については、現品のサイズ・加工などを確認のうえ施工を行ってください。 ●本製品はホルムアルデヒドなどの空気環境を考慮したものですが、施工の際にご使用になる現場調達品（飼木・接着剤など）によっては空気環境対策外の製品となる場合がありますのでご注意ください。

本製品は、一般住宅用（室内専用）です。
業務用や屋外または屋外に面する場所や浴室などに使用しないでください。



反りや変形の原因になりますので、製品到着後はすみやかに施工してください。また、開梱時には必ずキズの有無・部品のチェックを行い、開梱後は長く放置しないでください。キズが付く恐れがあります。

本説明書と異なる施工は行わないでください。間違った施工は思わぬ事故や故障の原因となります。また、本説明書と異なる施工で発生した製品の不具合についての返品・取替えはご容赦ください。

引き戸枠を施工する際は水平・垂直を確認し、下図のような状態にならないように取り付けてください。
引き戸が閉まりにくくなったり、すき間ができる原因となります。

引き戸枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、乾燥した飼木を入れてください。

引き戸本体のファインモーション金具および簡易ブレーキ金具は、取り外さないでください。
また、ファインモーション金具にあるオイルユニットのオイルを抜いたり、注入したりすると故障の原因になります。

本製品の組み立て・施工時には同梱の指定ビスを使用してください。他のビスを使用すると、部品・部材の脱落や枠の垂れ下がり・ゆるみなどの原因となります。
（本説明書内で「現場調達」と記載している場合は除きます）

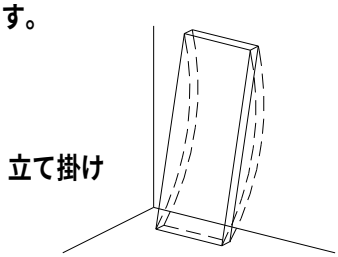
コンクリートやモルタルに直接施工しないでください。やむを得ず施工する場合には、必ず防水処理をしてください。

養生シートを使用する際は、粘着テープ等を化粧面に貼らないでください。テープをはがす際に化粧シートがはがれる恐れがあります。

建築工事中はドア本体を養生・保全し、施工完了後に吊り込むことをおすすめします。

製品施工後は水などで、引き戸本体・引き戸枠を濡らさないようにしてください。

施工が完了するまでは、引き戸本体や枠セットを水平に保管してください。立て掛けた状態での保管は反り発生の原因となります。



ファインモーション受けピンや簡易ブレーキ受け金具、関止め金具が、必ず所定位置（鴨居レールに取り付け穴加工済み）に取り付けられているかご確認ください。
また、引き戸本体を吊り込んだり、外す際には、必ずファインモーション受けピンや簡易ブレーキ受け金具、関止め金具に衝突しないよう避けた位置にて作業を行ってください。

養生・お手入れ方法・使用上のご注意は１６ページをご覧ください。

1．部材・部品表

施工前に部材・部品の梱包内容をお確かめください。

■枠セット

部材名	形状	入数	
		2本引き込み戸枠	3本引き込み戸枠
縦　枠	※1	1	1
縦枠（袖壁側）	※1	1	1
中方立	（下部パーツ取り付け済み） （調整金具本体差し込み）※1	1	1
鴨　居	（埋め込みナット取り付け済み） 2本引き込み戸枠　3本引き込み戸枠 ※1	1	1
すき間隠し（鴨居用）	（鴨居に取り付け済み・テープ仮止め）	1	1
袖壁用幅木		1	1
鴨居レール（固定ビス付き）（鴨居に仮固定済み）	2本引き込み戸枠　3本引き込み戸枠	1	1
中方立調整ツマミセット（標準）	（調整ツマミ×3個）（穴隠しシール×1）	1	1
中方立調整ツマミセット（ハイドア）（グランドハイト）	（調整ツマミ×4個）（穴隠しシール×1）	1	1
関止め金具（固定ビス付き）		1	2

ビスセット	ＩＰビス	50mm	16（18）※2
ビスセット	枠組み立て用ビス	32mm	4
ビスセット	ビス穴キャップ		10（12）※2
施工・取扱説明書		（本説明書）	1

■　額縁セット ※3

部材名	形状	入数
縦枠用		4
鴨居用		2

※1．図は額縁調整枠です。固定枠は形状が異なります。
※2．（　）内はハイドア、グランドハイトの場合です。
※3．額縁調整枠対応品です。

■敷居（敷居はA、Bのいずれかを使用します）

A．シート敷居

部材名		形状	入数	
			2本引き込み戸枠	3本引き込み戸枠
敷居本体／ベース		（埋め込みナット取り付け済み） 2本引き込み戸枠　3本引き込み戸枠	1	1
敷居レール			2	3
すき間隠し（敷居用）			1	1
ビスセット	敷居固定ビス	30mm　φ3.3	6	8
	枠組み立て用ビス	32mm	4	4

B．床付平型レール

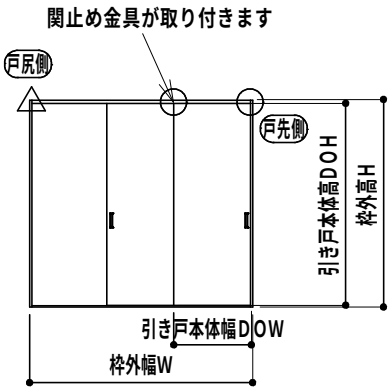
部材名	形状	入数
平型レール （固定ビス付き）	2本引き込み戸枠　3本引き込み戸枠	1
すき間隠し （平型レール用）		1

2．姿図

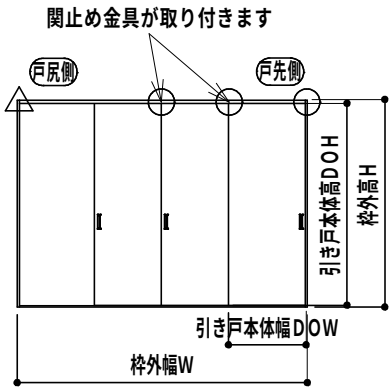
※図面は標準セットのシート敷居を使用した場合です。

（単位：mm）

■2本引き込み戸枠



■3本引き込み戸枠



○印：ファインモーション受けピンが取り付きます
△印：簡易ブレーキ受け金具が取り付きます

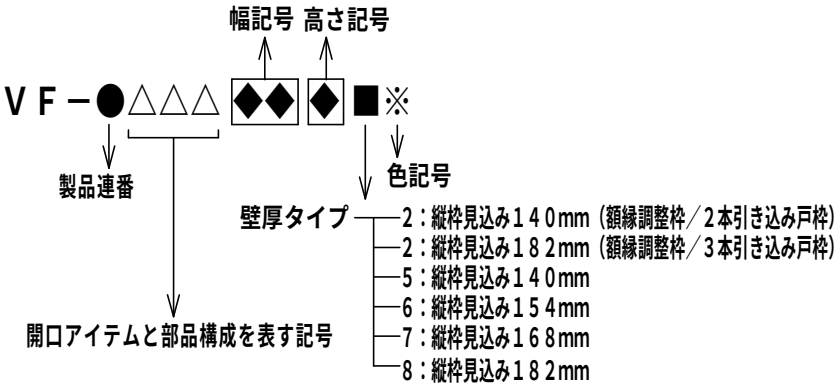
・幅方向

2本引き込み戸枠		
幅記号	枠外幅W	DOW
40	2483	858／842／828

3本引き込み戸枠		
幅記号	枠外幅W	DOW
40	3230	858／835／813

・高さ方向

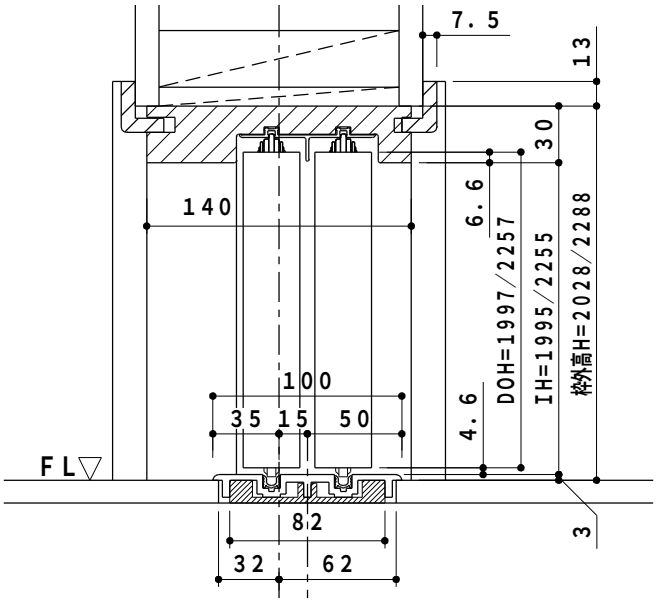
2本引き込み戸枠・3本引き込み戸枠		
高さ記号	枠外高H	DOH
7	2028	1997
8	2288	2257
9	2400	2369



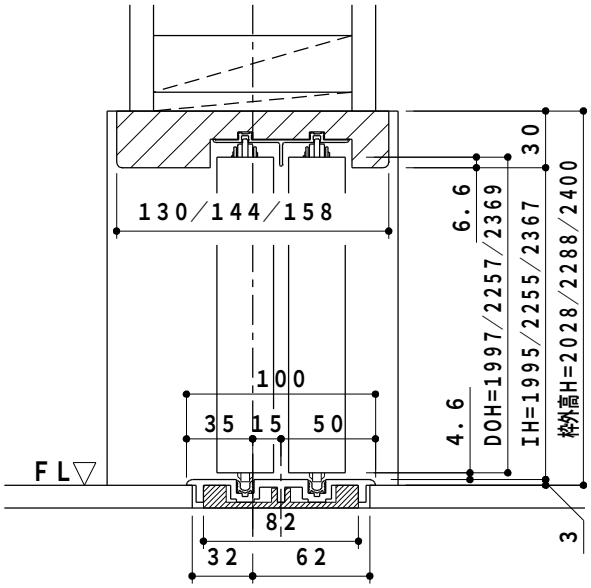
3．納まり図

（単位：mm）

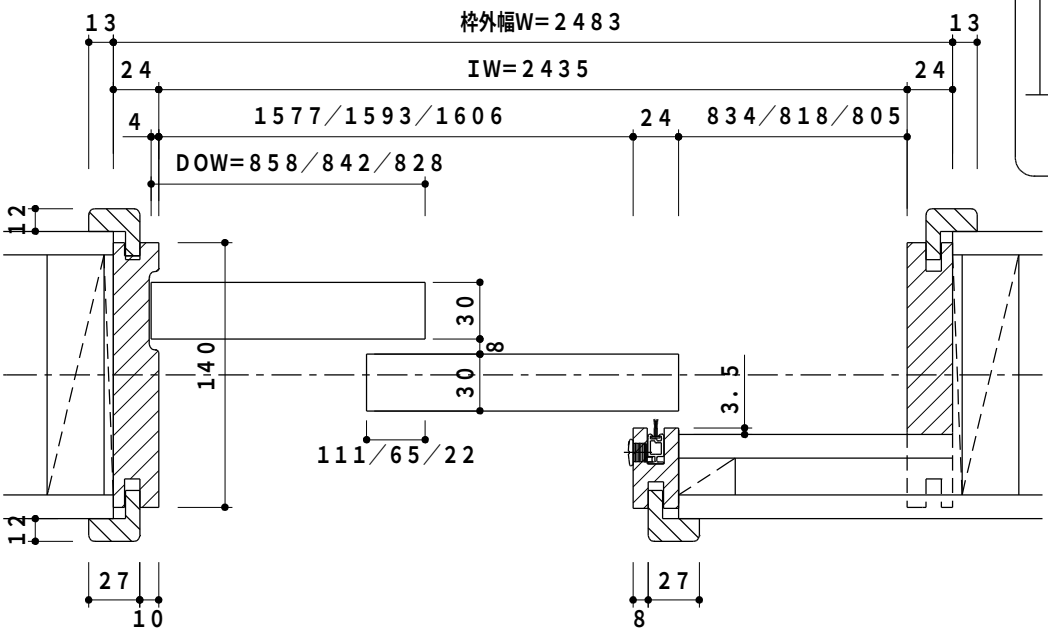
■額縁調整枠　2本引き込み戸枠（垂直断面図）



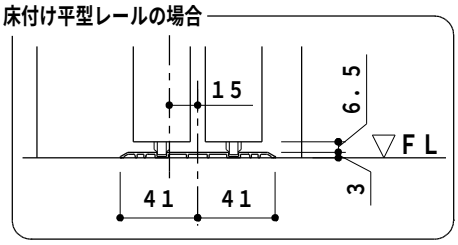
■固定枠　2本引き込み戸枠（垂直断面図）



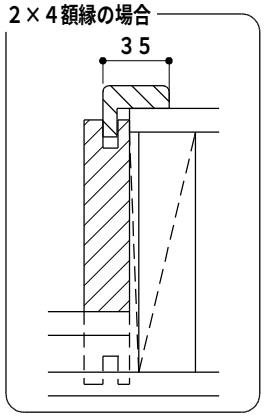
■額縁調整枠　2本引き込み戸枠（水平断面図）



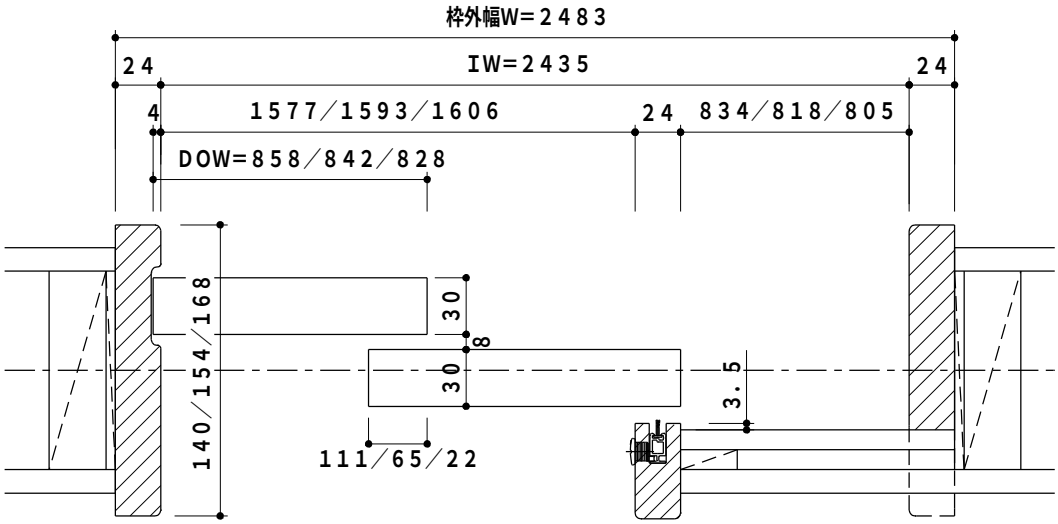
床付け平型レールの場合



2×4額縁の場合



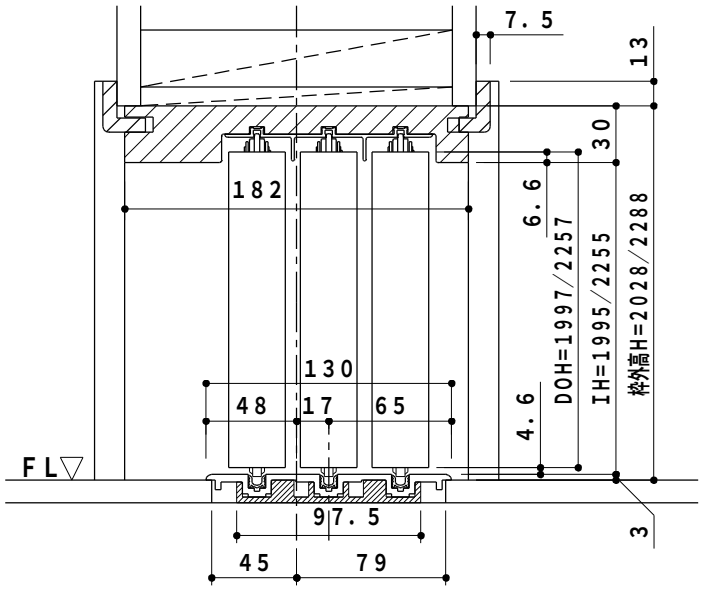
■固定枠　2本引き込み戸枠（水平断面図）



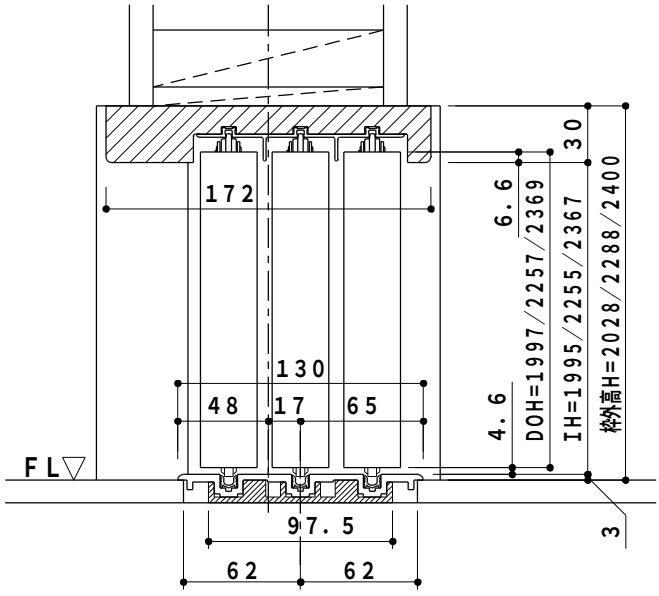
※図面は右引き（R）の場合です。左引き（L）の場合は左右対称となります。

（単位：mm）

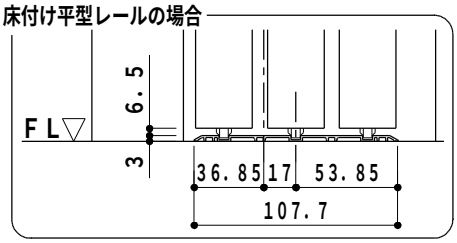
■額縁調整枠　３本引き込み戸枠（垂直断面図）



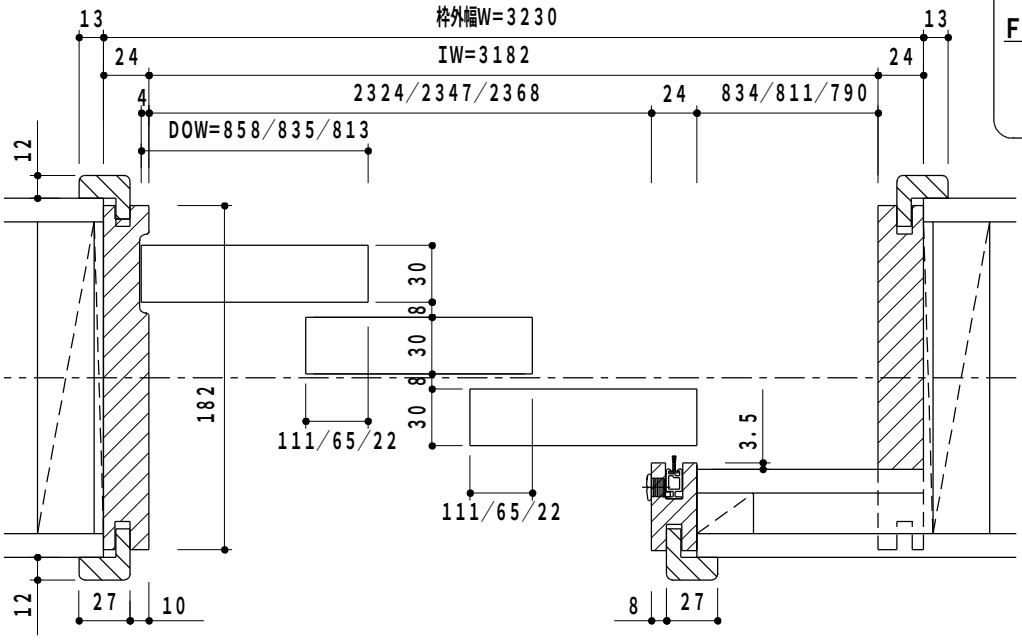
■固定枠　３本引き込み戸枠（垂直断面図）



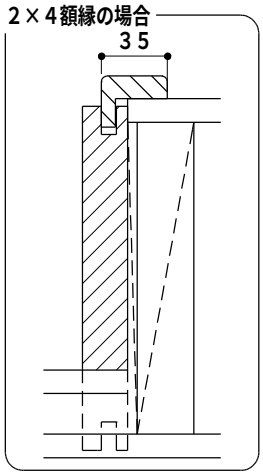
床付け平型レールの場合



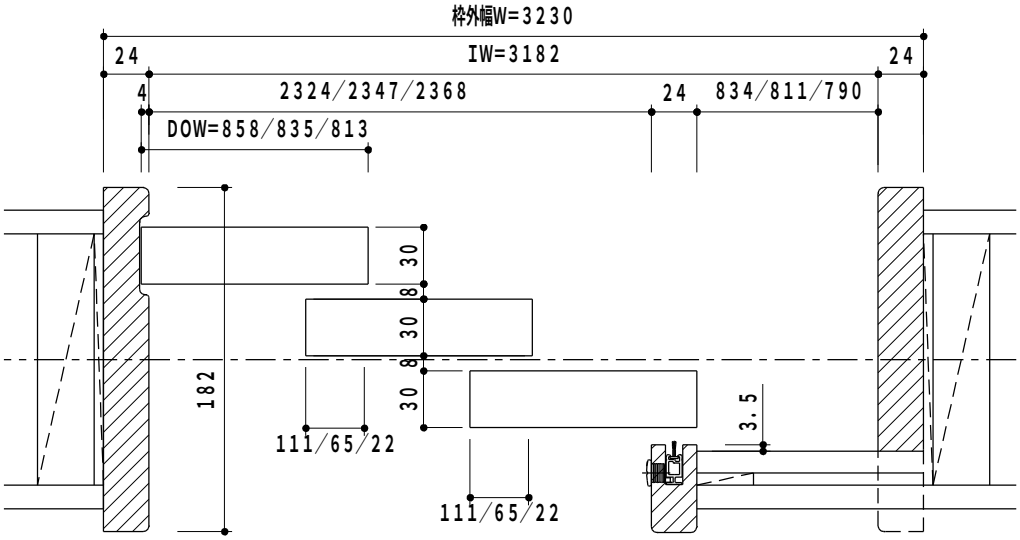
■額縁調整枠　３本引き込み戸枠（水平断面図）



2×4額縁の場合



■固定枠　３本引き込み戸枠（水平断面図）



※図面は右引き（R）の場合です。左引き（L）の場合は左右対称となります。

４．施工手順

４－１．開口寸法の調整

①使用する製品の寸法を確認し、柱・間柱・まぐさの内法寸法を合わせてください。（図１）
内法寸法は製品の枠外寸法と１０㎜（片側５㎜）の余裕寸法を見込んで決めてください。

②下げ振りや水準器で、柱の垂直、まぐさの水平および、間口のねじれ、傾きを確認して、修正してください。（図２）

図１

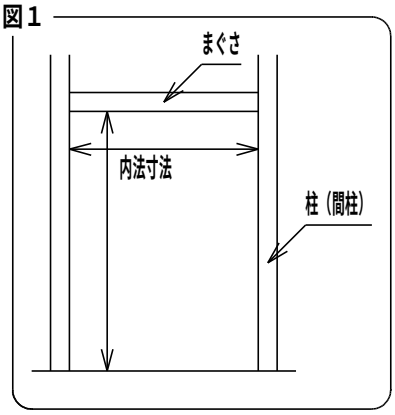
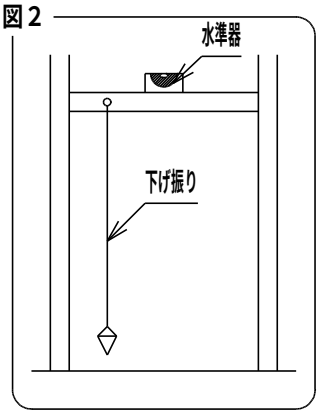


図２

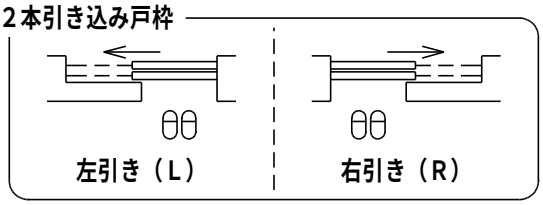


４－２．施工の前準備

●引き戸枠はノックダウン（現場組み立て）製品です。現場の納まりに応じて、現地での加工が必要です。
次の説明に従って加工してください。

①引き勝手の確認
引き込み戸枠は引き勝手によって加工方向が変わりますので、ご使用いただく枠の引き勝手を確認してください。

２本引き込み戸枠



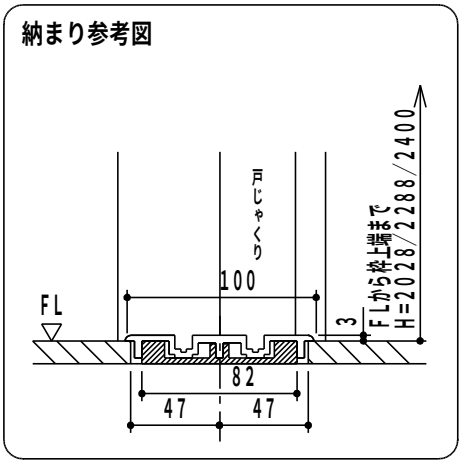
②縦枠の加工

縦枠上端には仕口加工（額縁仕様のみ）および鴨居取り付け用のビス穴加工が施されています。
●標準仕様は、フロア乗せ施工に対応した枠高さになっています。
フロア乗せ施工の場合は、縦枠の下端のカットは不要です。
●品番末尾が＋Ｅ（オプション）の場合は、縦枠の下端に敷居取付用のビス穴加工が施されており
フロア埋め込み施工に対応しています。縦枠の下端部には、現場の納まりと使用する敷居の種類
によって異なる加工が必要です。下図を参照のうえ、加工してください。

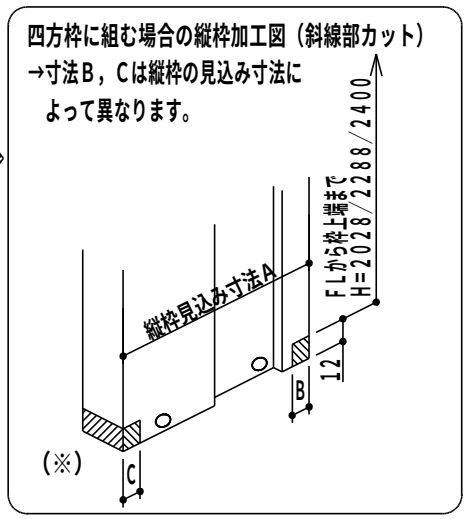
■品番末尾に＋Ｅ（オプション）がある場合
Ａ．シート敷居の場合→縦枠に加工必要

●品番末尾が＋Ｅ（オプション）の場合は、あらかじめ縦枠・中方立の下端を１２mm伸ばして出荷します。フロア埋め込み施工に対応しています。

納まり参考図

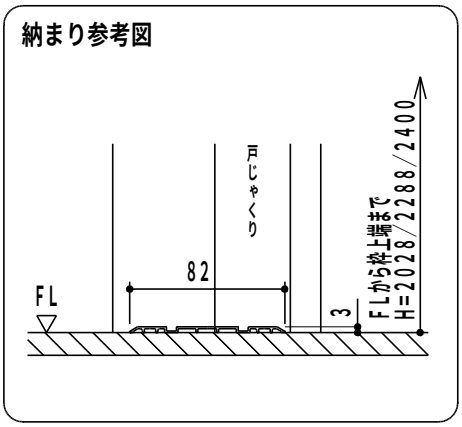


四方枠に組む場合の縦枠加工図（斜線部カット）
→寸法Ｂ，Ｃは縦枠の見込み寸法によって異なります。

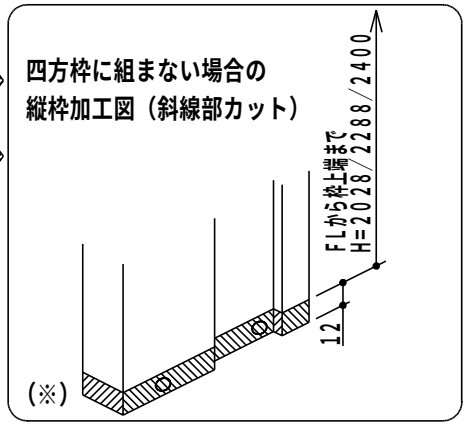


Ｂ．床付平型レールの場合→縦枠に加工必要

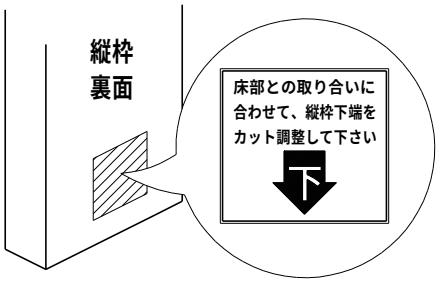
納まり参考図



四方枠に組まない場合の縦枠加工図（斜線部カット）



（※）縦枠裏面に下図の表示のある方が下側です。



●加工寸法は現場に合わせてください。
下記寸法は、参考寸法です。　（単位：mm）

２本引き込み戸枠			
種類	寸法A	寸法B	寸法C
額縁調整枠	１４０	１０	４０
固定枠５	１４０	１０	４０
固定枠６	１５４	１７	４７
固定枠７	１６８	２４	５４

３本引き込み戸枠			
種類	寸法A	寸法B	寸法C
額縁調整枠	１８２	１４	４８
固定枠８	１８２	１４	４８

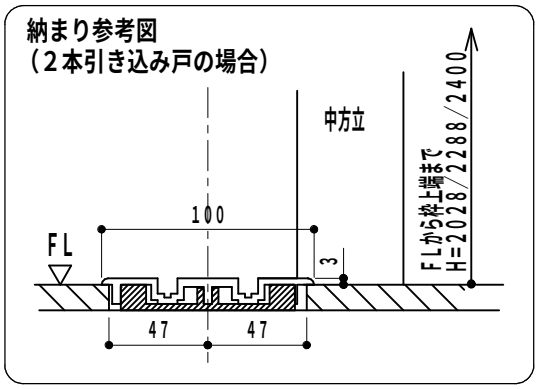
・ＦＬは、床仕上げ面を示します。
・フローリングが１２mm厚以外の場合は、敷居に同梱の取扱・施工説明書をご参照ください。

③床部の納まりによる中方立の加工

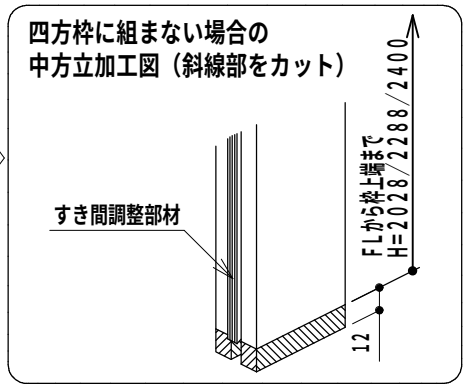
中方立には上端の仕口加工（額縁仕様のみ）および鴨居との接合部の加工、鴨居取り付け用ビス穴加工が施されています。
●標準仕様は、フロア乗せ施工に対応した枠高さになっています。
　フロア乗せ施工の場合は、中方立の下端のカットは不要です。
●品番末尾が＋Ｅ（オプション）の場合は、縦枠同様に下端部に加工が必要です。
　下図を参照のうえ加工してください。

■品番末尾に＋Ｅ（オプション）がある場合

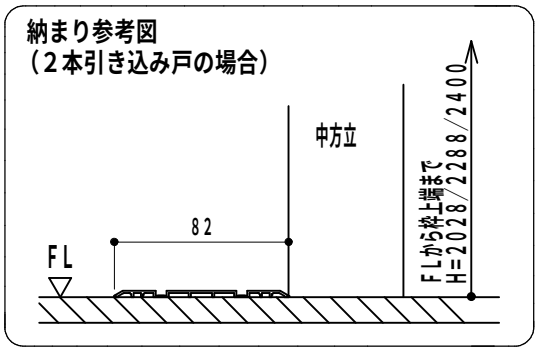
Ａ．シート敷居→中方立に加工必要



●品番末尾が＋Ｅ（オプション）の場合は、あらかじめ縦枠・中方立の下端を１２mm伸ばして出荷します。フロア埋め込み施工に対応しています。



Ｂ．床付平型レール→中方立に加工必要

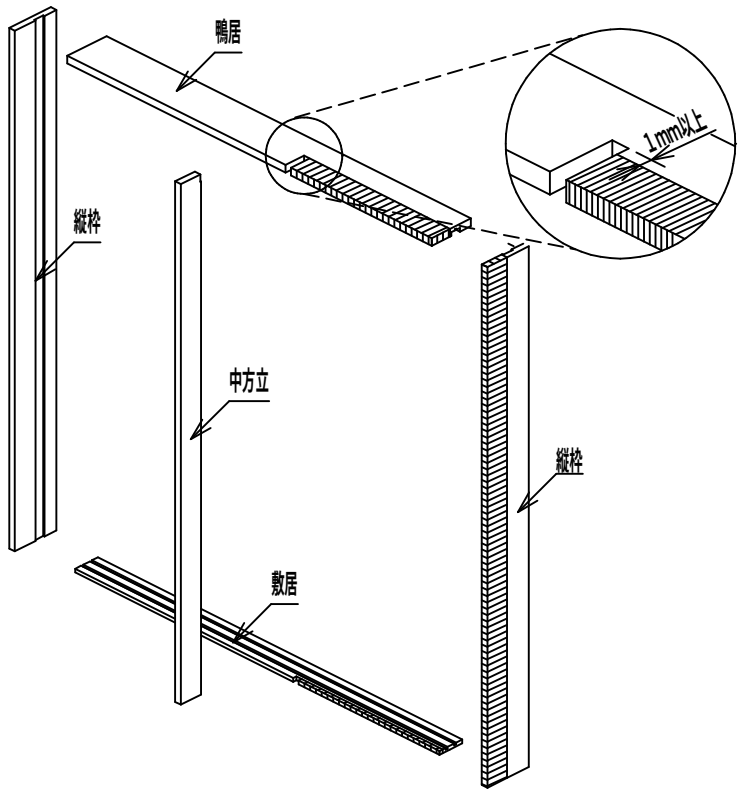


・ＦＬとは、床仕上げ面を示します。

④縦枠・鴨居・敷居の見込み幅カット

２本引き込み戸枠・３本引き込み戸枠の場合、工法・壁厚により枠幅のカットが必要です。（５～６ページの納まり図を参照）

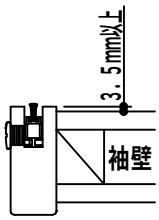
２本引き込み戸枠の参考図（斜線部をカット）



※左図は右引き（Ｒ）の場合です。
※３本引き込み戸枠も同様です。

・鴨居および敷居には中方立を取り付けるための加工を施しています。枠の左右引き勝手に従って、鴨居およびシート敷居の加工を行ってください。

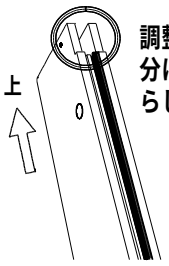
・袖壁用幅木の取り付け（１５ページ参照）には、中方立と袖壁のチリ寸法を３．５mm以上確保することが必要です。そのため鴨居カット時に、左図寸法部を１mm以上確保してください。



⑤中方立すき間調整金具の取り付け

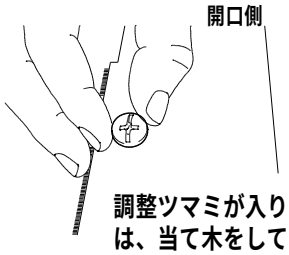
1．中方立の上下を確認します。
切欠がある方が上です。（図１）

2．開口側となる中方立側面の貫通穴に調整ツマミを取り付けます。（図２）
袖壁側には同梱している穴隠しシールを貼り付けます。（図３、４）



調整金具本体が切欠部分に出ていれば下にずらしてください。

図１



調整ツマミが入りづらい場合は、当て木をしてハンマーで軽く叩いてください。

図２

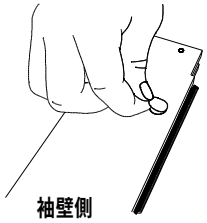


図３

袖壁側の穴隠しシールを同梱しています。

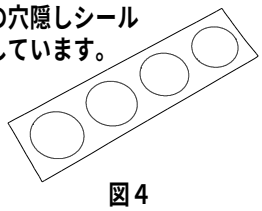
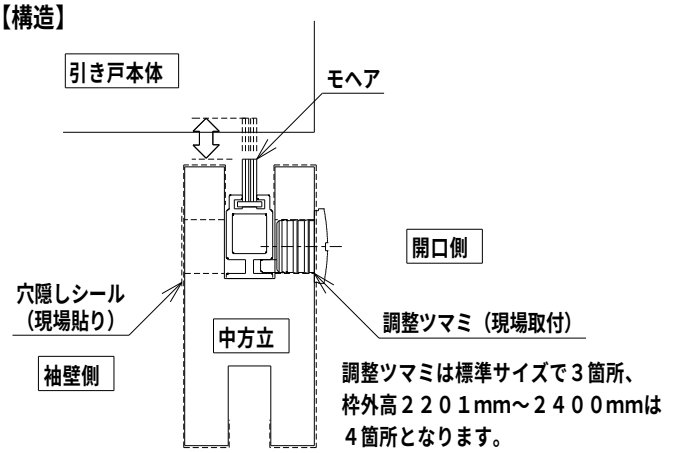


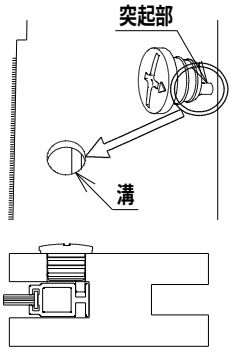
図４

【構造】

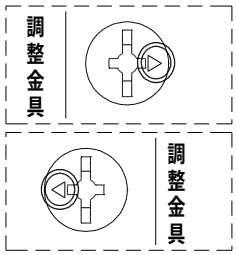


調整ツマミは標準サイズで３箇所、
枠外高２２０１mm～２４００mmは
４箇所となります。

お願い　調整ツマミを取り付ける際は、調整ツマミの突起部を金具の溝に入れるため、調整ツマミの▲マークが調整金具と反対の位置になるようにセットします。



▲マーク下が突起部



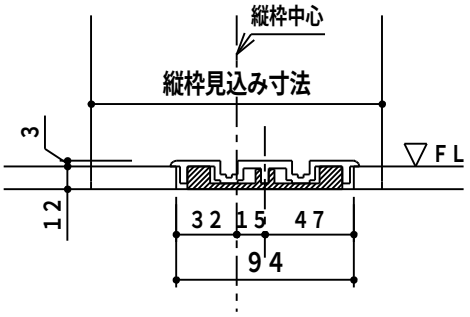
⑥シート敷居を使用する場合の床材の施工

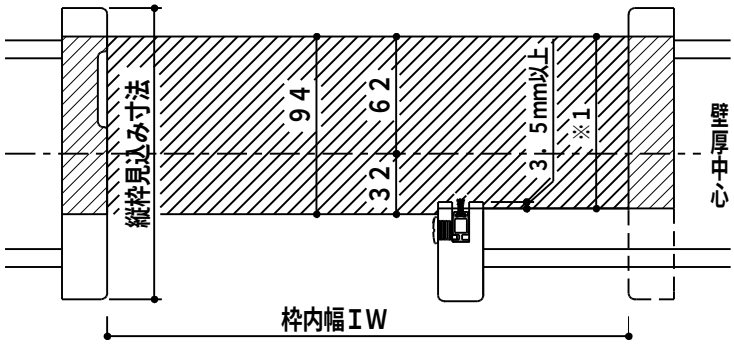
シート敷居をご使用になる際に、枠の施工より床材の施工を先に行う場合は、下図の斜線部分をあけて施工してください。
斜線部分には敷居本体およびベースが入ります。

お願い

■２本引き込み戸枠

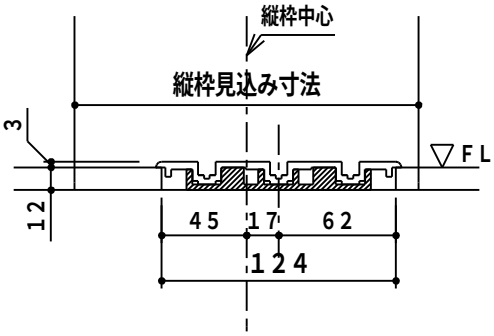
（単位：mm）

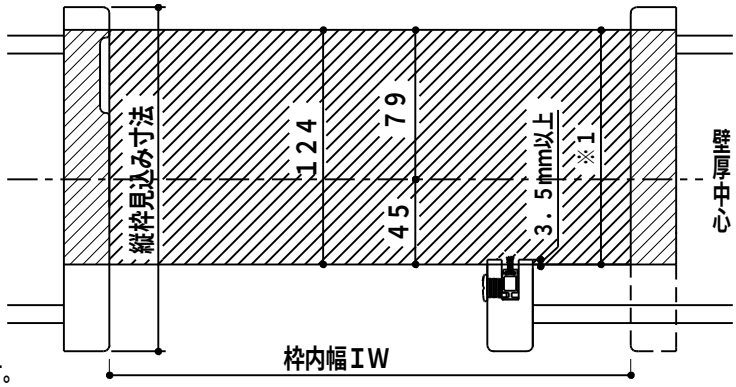




※１　中方立と袖壁のチリ寸法によりカット寸法（※１）が変わります。

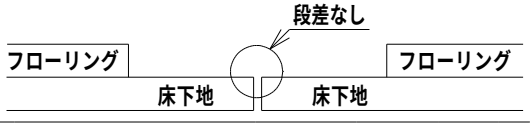
■３本引き込み戸枠





※１　中方立と袖壁のチリ寸法によりカット寸法（※１）が変わります。

お願い　シート敷居が施工される床下地に、段差のないことを確認してください。段差のある場合は、解消してください。段差があると、フローリングとのすき間、音なり、波打ちの原因となります。



４－３．枠の組み立て

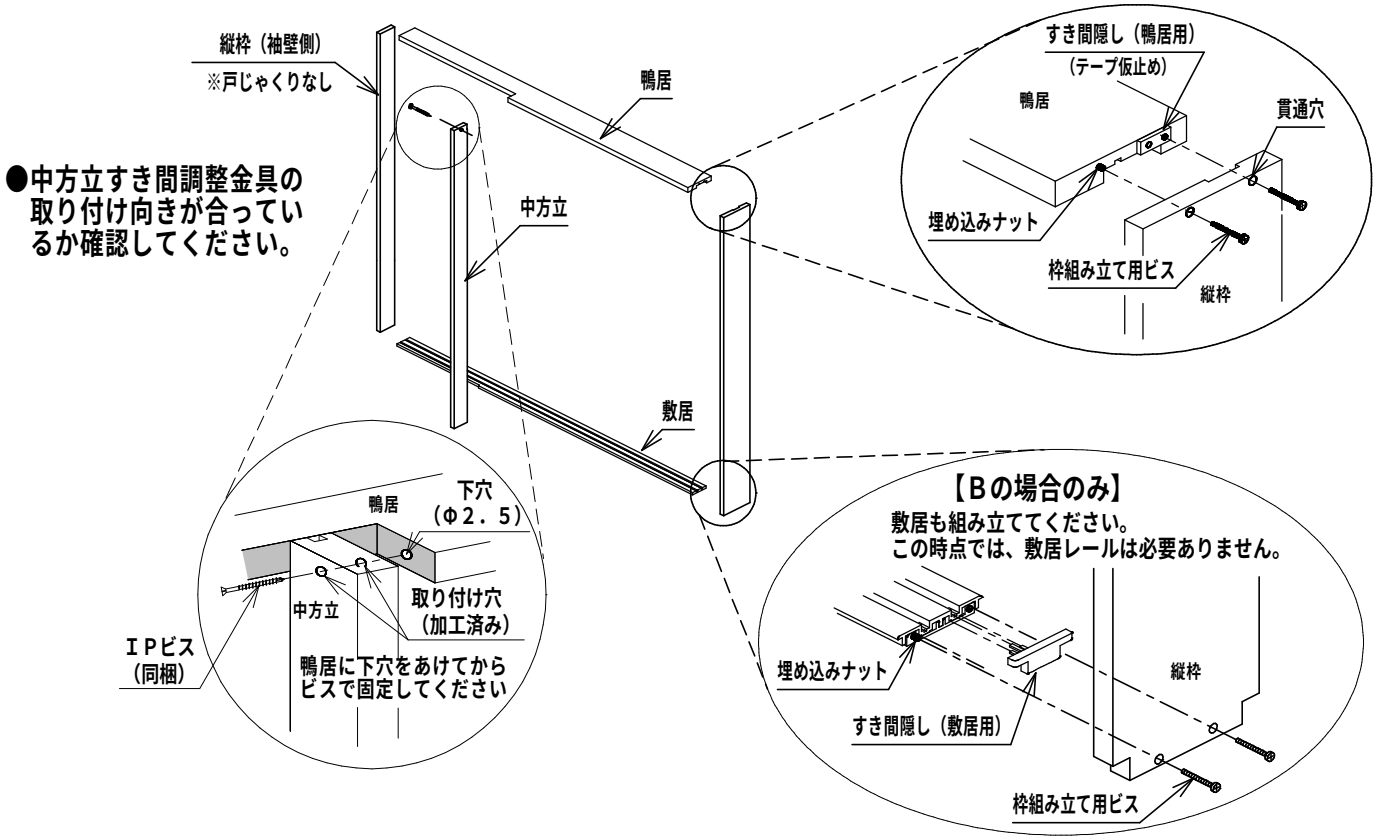
Ａ．床付平型レール、シート敷居で四方枠に組まない場合【標準仕様：フロア乗せ施工の場合】

●加工した縦枠・鴨居・中方立を組み立ててください。
鴨居には埋め込みナットが取り付け済みです。縦枠の貫通穴とジョイント（仮固定）して、同梱の枠組み立て用ビスで固定してください。この時点では、床付平型レールもしくはシート敷居は必要ありません。

Ｂ．シート敷居で四方枠に組む場合【オプション仕様：品番末尾が＋Ｅの場合】

●加工した縦枠・鴨居・中方立・敷居を組み立ててください。
鴨居とシート敷居には埋め込みナットが取り付け済みです。縦枠の貫通穴とジョイント（仮固定）して、同梱の枠組み立て用ビスで固定してください。

※下図は２本引込み戸枠の場合



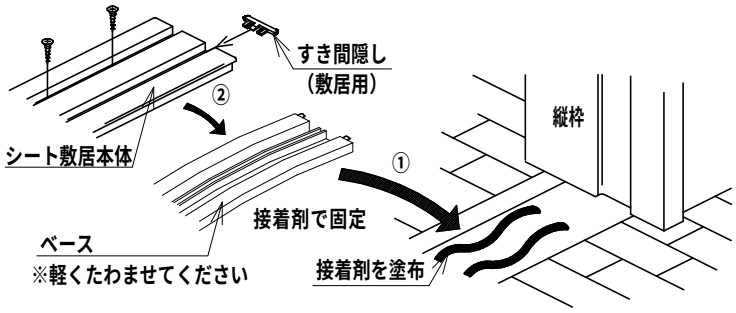
お願い
・枠の組み立ては水平な場所で行ってください。
・枠の組み立ては同梱の枠組み立て用ビスを使用してください。

４－４．枠の取り付け

①飼木（パッキン材／現場調達）と酢ビ系接着剤（現場調達）を用いて、調整した開口部（７ページ参照）に組み立てた枠を仮固定してください。シート敷居を施工する床材の加工寸法は９ページを参照ください。

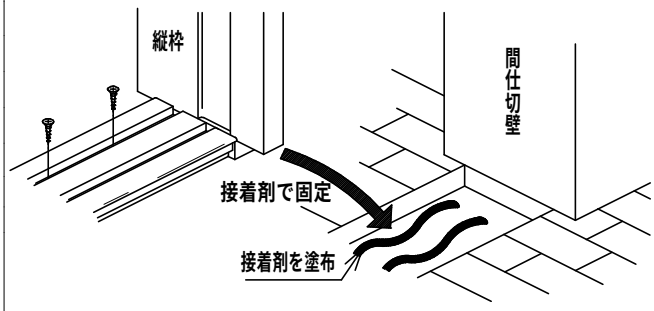
●シート敷居は、ベースをゴム系またはエチレン酢ビ系の接着剤（現場調達）を使用して、しっかり固定してください。（図Ａ・Ｂ）

図Ａ　シート敷居で四方枠に組まない場合【標準仕様：フロア乗せ施工の場合】



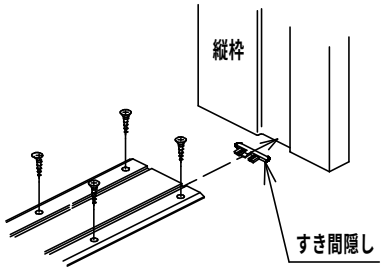
１．ベースを軽くたわませて、ベースに取付済みの埋め込みナットを縦枠の下にもぐり込ませて設置してください。
２．シート敷居本体にすき間隠しをセットし、ベースの上に取り付け同梱の敷居固定ビスで固定してください。
※縦枠にキズが付かないようにご注意ください。

図Ｂ　シート敷居で四方枠に組む場合
【オプション仕様：品番末尾が＋Ｅの場合】



●床付平型レールの場合は、すき間隠しをレールにはめ込み、戸じゃくり位置に合わせて同梱のビスでしっかり固定してください。（図Ｃ）

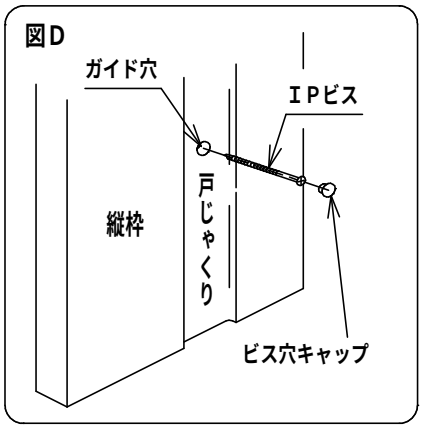
図Ｃ



②枠内寸法を確保しながら、水準器・下げ振りを使用して枠の水平・垂直・ねじれ・ふくらみを確認・調整してください。

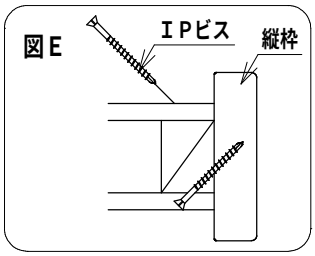
③縦枠戸じゃくり部のガイド穴より、同梱のＩＰビスで躯体にしっかり固定して、その後、ガイド穴にビス穴キャップを取り付けください。（図Ｄ）

図Ｄ



●ただし、袖壁側の縦枠にはガイド穴がありませんので、躯体（壁側）から縦枠にむかってＩＰビスを打ち込んでください（図Ｅ）

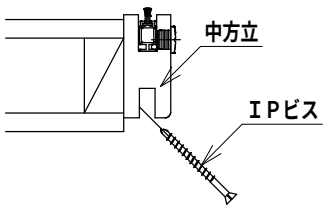
図Ｅ



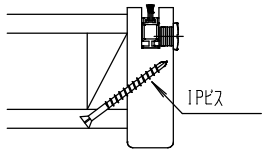
④中方立にはガイド穴がありませんので、額縁調整枠の場合は額縁溝からビスを打ち込んでください。（図Ｆ）

●固定枠の場合は、躯体側からビスを打ち込んでください。

図Ｆ　額縁調整枠の場合



固定枠の場合



お願い

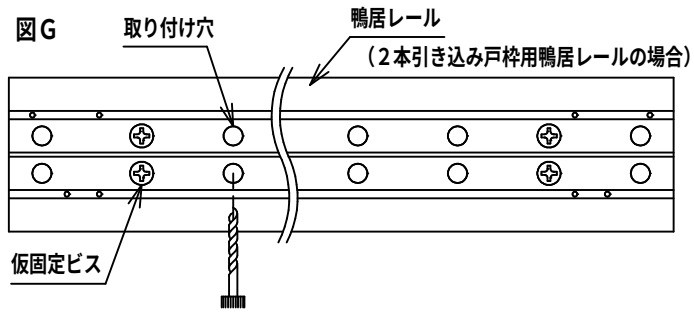
下穴加工（φ３）をして固定してください。中方立調整部材にビスが干渉すると調整が正常にできなくなります。

⑤鴨居には鴨居レールが仮固定されていますので、固定ビスを使用して取り付け穴から駆体へしっかり固定してください。（図Ｇ）

●その際、躯体へ、鴨居レールの取り付け穴から固定ビス用の下穴（φ３）を加工しておくと施工が容易になります。（図Ｇ）

お願い　仮固定ビスは外さないでください。

図Ｇ

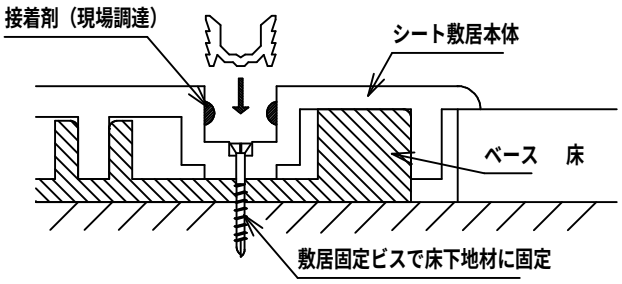


お願い　鴨居にたるみ・ねじれのないように躯体にしっかり固定してください。

⑥敷居は敷居に同梱されている敷居固定ビスで、ガイド穴より床下地にしっかり固定してください。（図Ｈ）

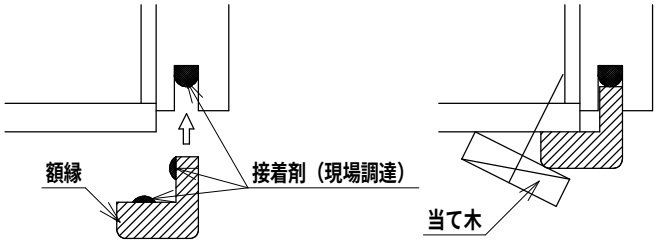
●敷居レールは、接着剤（ゴム系またはエチレン酢ビ系／現場調達）を塗布してはめ込んでください。

図Ｈ



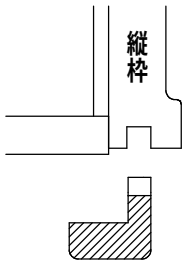
お願い　敷居にたるみ・ねじれのないように躯体にしっかり固定してください。

⑦額縁取り付け時には、酢ビ系接着剤（現場調達）を必ず使用し、完全に硬化するまで当て木をしてください。
額縁は、壁厚にあわせて現場にてカットして納めてください。



お願い

縦枠の戸じゃくり側の溝は、浅めになっておりますので額縁を現場カットしてください。



【グランドハイト枠セット（枠外高さ：２４００㎜）を天井先貼り時に施工する場合】　天井高さ２４００㎜

お願い　天井先貼りの場合、シート敷居で四方枠に組むことはできません。ご注意ください。

枠の組み立て

1．飼木（パッキン材／現場調達）と接着剤（酢ビ系／現場調達）を用いて、調整した開口部（下図参照）に戸先側の縦枠を固定してください。（図Ｉ）　戸じゃくり部のガイド穴より同梱のＩＰビスで躯体にしっかり固定し、ガイド穴にビス穴キャップを取り付けてください。（１１ページ　図Ｄ）

2．反対側の縦枠を仮固定してください。

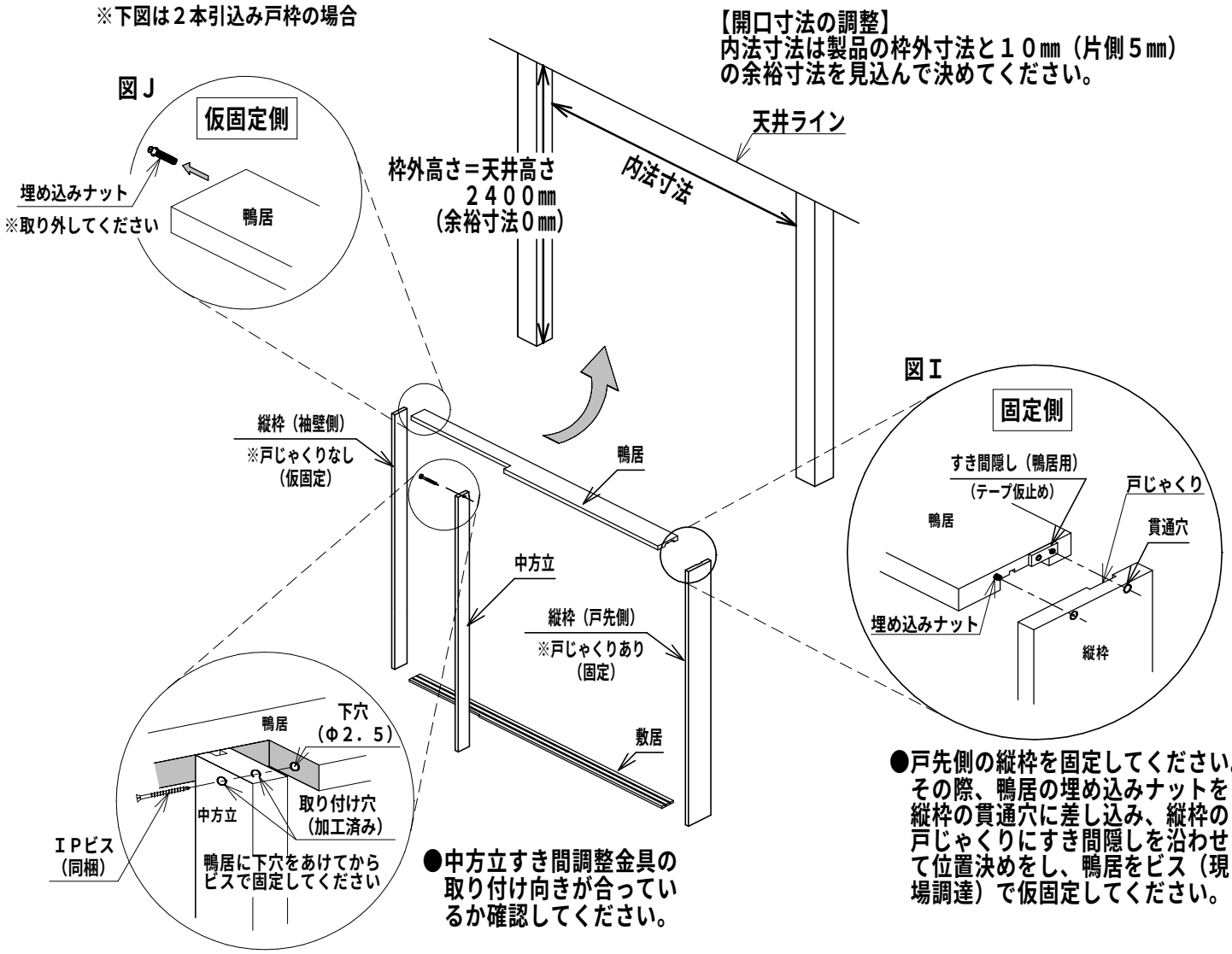
3．仮固定した縦枠側の鴨居の埋め込みナットを外してください。（図Ｊ）

4．鴨居に仮止めしてあるすき間隠しを、縦枠の戸じゃくりに沿わせて位置決めし、鴨居をビス（現場調達）で仮固定してください。（図Ｉ）

5．仮固定した縦枠と躯体の間に飼木（パッキン材／現場調達）と接着剤（酢ビ系／現場調達）を用いて開口を調整し、枠内寸法を確保しながら、水準器・下げ振りを使用して枠の水平・垂直・ねじれ・ふくらみを確認・調整してください。

6．１２ページの④～⑥の手順に従って、中方立、鴨居および敷居を固定してください。
シート敷居を施工する床材の加工寸法は、９ページを参照ください。
シート敷居または床付平型レールの固定方法は、１１ページを参照ください。

※下図は２本引込み戸枠の場合



【開口寸法の調整】
内法寸法は製品の枠外寸法と１０㎜（片側５㎜）の余裕寸法を見込んで決めてください。

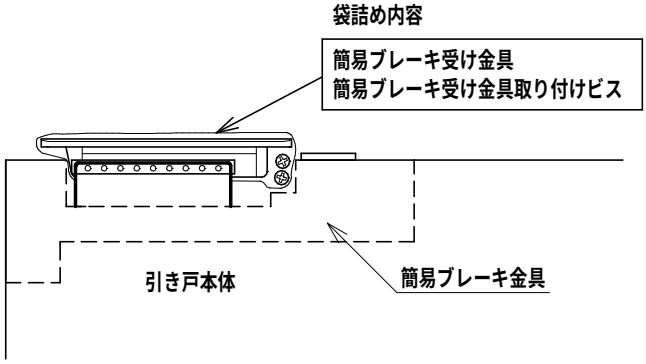
●中方立すき間調整金具の取り付け向きが合っているか確認してください。

●戸先側の縦枠を固定してください。その際、鴨居の埋め込みナットを縦枠の貫通穴に差し込み、縦枠の戸じゃくりにすき間隠しを沿わせて位置決めをし、鴨居をビス（現場調達）で仮固定してください。

４－５．付属部品の取り付け

①ファインモーション受けピンおよび簡易ブレーキ受け金具の取り付け

・簡易ブレーキ受け金具と取り付けビスは、引き戸本体の簡易ブレーキ金具に袋詰めされた状態でセットされています。
・袋詰された簡易ブレーキ受け金具、取り付けビスを取り出してください。

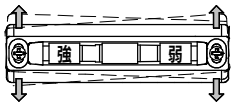


・鴨居レールには、ファインモーション受けピンと簡易ブレーキ受け金具、関止め金具それぞれの取り付け穴があいています。
１４～１５ページの図Ｋ、図Ｌをご参照のうえ、取り付け穴に合わせて取り付けてください。

お願い　簡易ブレーキ受け金具の取り付け方向を間違えないようにご注意ください。
逆向きに取り付けると、機構が正常に作動しなくなります。

お願い　簡易ブレーキ受け金具は調整可能です。
取り付けには、ハンドドライバーをご使用ください。
電動ドライバー等はご使用にならないでください。

簡易ブレーキ受け金具



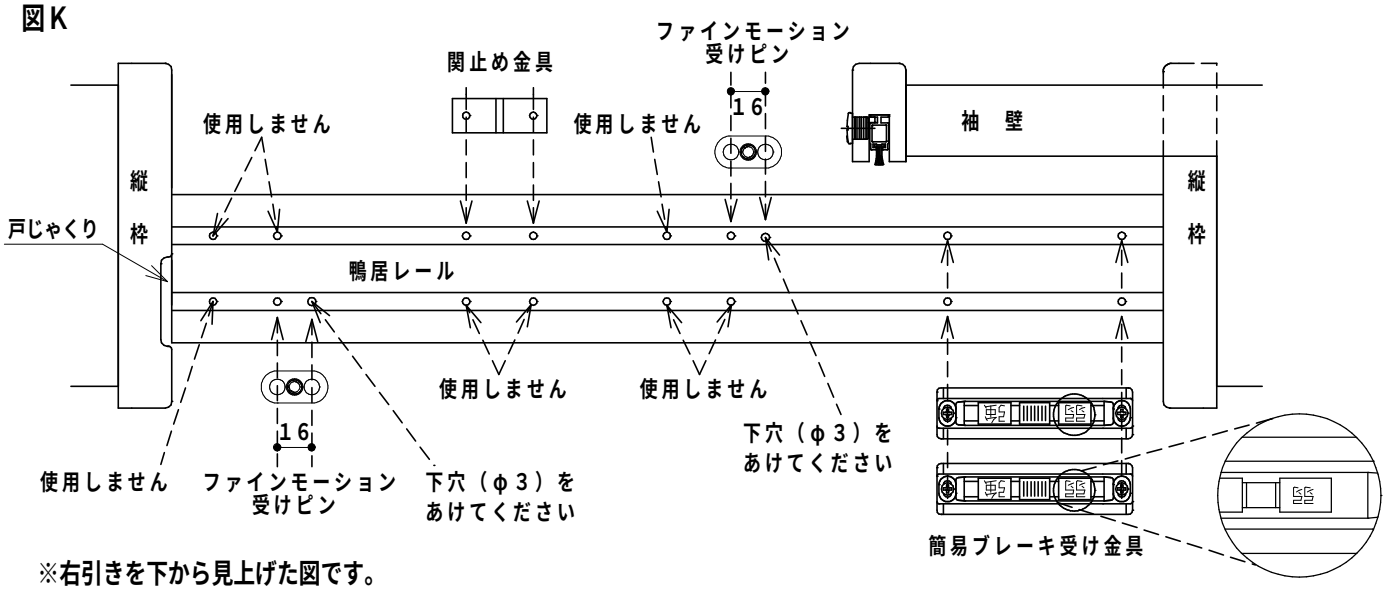
②関止め金具の取り付け

鴨居レールの中央にある下穴に合わせて関止め金具を取り付けてください。
（１４ページ、１５ページ　参照）

■２本引き込み戸枠の場合（図Ｋ）

・簡易ブレーキ受け金具は＜弱＞表示の方を枠の外の方向に向けて取り付けてください。
・関止め金具は鴨居レールの中央にある取り付け穴に合わせて取り付けてください。

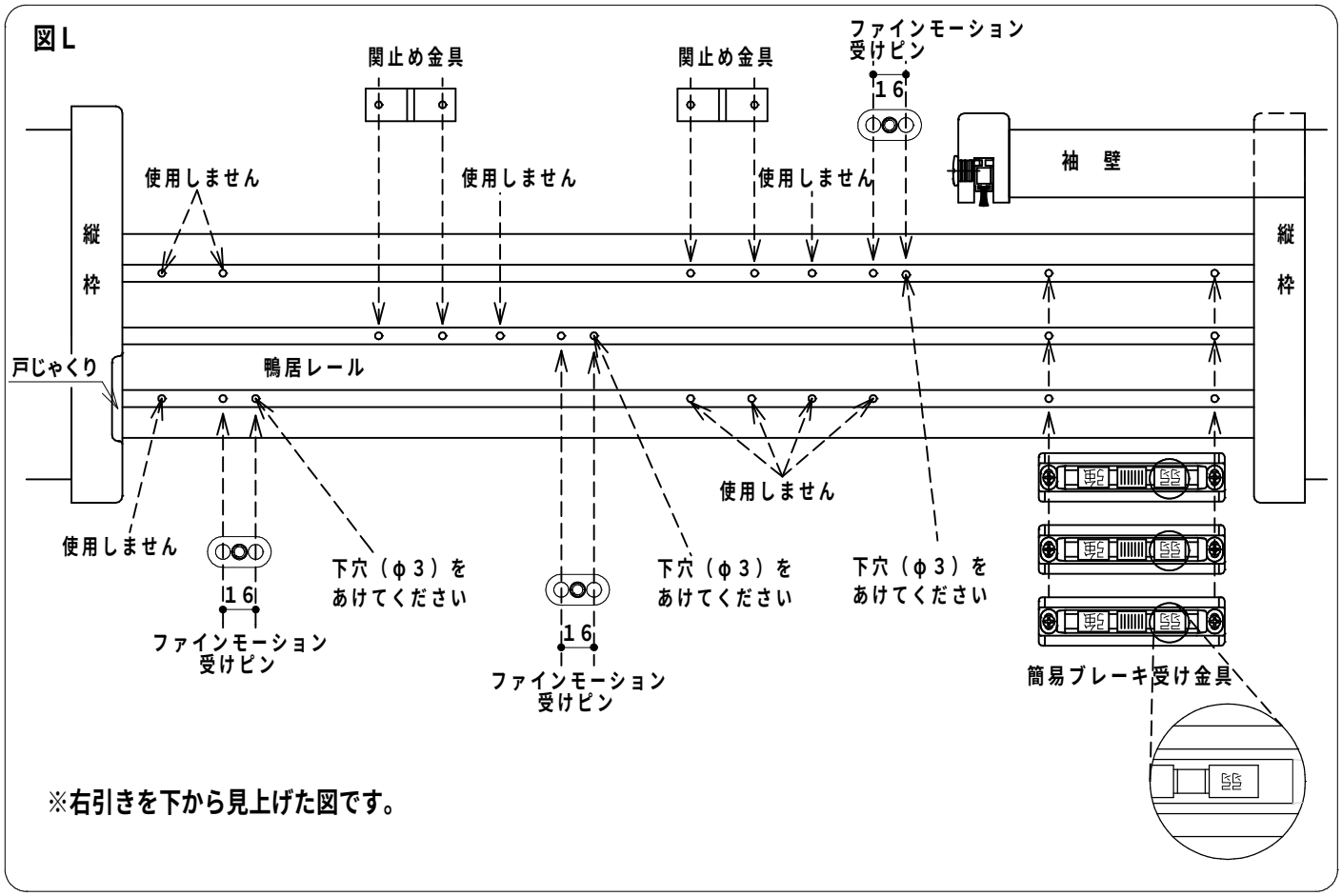
図Ｋ



※右引きを下から見上げた図です。

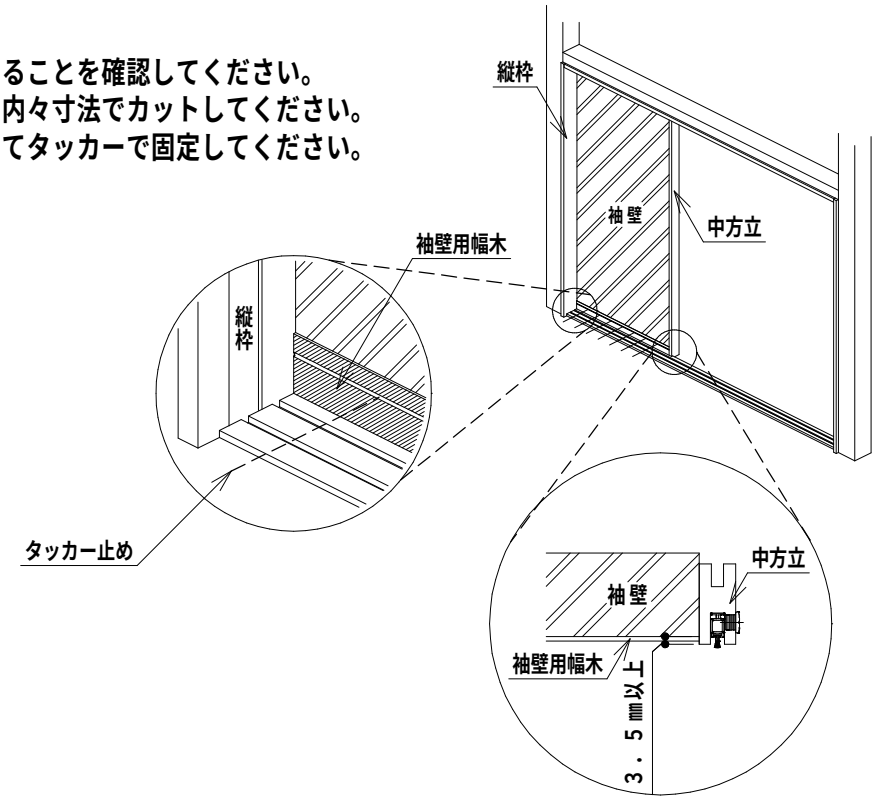
■３本引き込み戸枠の場合（図Ｌ）

・簡易ブレーキ受け金具は<弱>表示の方を枠の外の方向に向けて取り付けてください。
・関止め金具は鴨居レールの中央にある取り付け穴に合わせて取り付けてください。



③袖壁用幅木の取り付け

・チリ寸法が３．５mm以上あることを確認してください。
・袖壁用幅木を縦枠と中方立の内々寸法でカットしてください。
・袖壁用幅木の溝部分を使用してタッカーで固定してください。



5．養生・お手入れ方法

5－1．　養生

・当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等で養生してください。

5－2．　お手入れ方法

・引き戸本体が汚れている場合は、水を含ませた雑巾を固く絞り、拭き取ってください。
金属はやわらかい布で乾拭きしてください。

禁止

・酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤（シンナー・ベンジン）などは絶対に使用しないでください。
シートのフクレ・シワやシミ・艶ムラ、塗装・メッキのはがれやサビ等の原因となります。

・レールおよびファインモーション金具には、潤滑油等を塗布しないでください。
ブレーキ力が弱まりファインモーション機構が作動しなくなる場合があります。

6．ご使用上のご注意

・ファインモーション機構や簡易ブレーキ機構は、引き戸本体を開閉した際に発生する衝突音を抑え、引き戸本体の跳ね返りを少なくするもので、指挟み等を防止するものではありません。

・ファインモーション金具のオイルダンパーが室温などの影響を受けて、引き戸の閉まる速度が変わる場合があります。

・ファインモーションの機能が働かなくなった場合は、一度引き戸本体を完全に閉めてください。

・引き戸本体に取り付いているファインモーション金具および簡易ブレーキ金具は、取り外さないでください。
また、オイルユニットのオイルを抜いたり、注入すると故障の原因になります。

・引き戸本体の開閉は静かに行ってください。勢いよく閉めるとブレーキ機構が破損する恐れがあります。

・引き戸に寄りかからないでください。転倒や引き戸の破損の原因となり、ケガをする恐れがあります。

・開閉にあたっては、引き戸どうしのすき間や枠のすき間に手を置かないでください。指を挟んでケガをする恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。

・暖房器具などから発生する熱風、熱気が直接当たらないようにしてください。引き戸の反り、変色、火災などの原因になります。

・引き戸に粘着テープでポスターなど貼らないでください。表面が傷む恐れがあります。

・引き戸本体に水、油、殺虫剤などが付着しないようにしてください。材質の特性により表面が膨れたり、シミ、変色などが発生する恐れがあります。

・使用中に異常を感じられたり不具合が生じたときは、取り付け部分などの確認をしてください。ご自身で対処できない場合には、施工店にご相談ください。

・敷居レールに、ホコリや砂が付着すると引き戸の走行に支障が生じる場合がありますので、こまめに掃除をしてください。

取り付け・修理・補修部品などのご相談は、販売会社・管理会社もしくはお求めの工務店・販売店へお問い合わせください。

永大産業株式会社
http://www.eidai.com
内装システム事業部

お客様相談センター
0120-685-110
受付時間 平日 9:00~18:00 土曜日 9:00~18:00
休業日 日曜日、祝日、夏期休暇、年末年始
E-mail:cs@eidai-sangyo.co.jp

S864Ie1902nkEP 第3版